

第40回 「個性ある図書館」展示

視覚障害について

展示期間 12月23日～2月22日

展示場所 南台図書館2階 展示コーナー

人間の五感の1つである「視覚」は生きていくための情報を入手する上で、重要な役割を果たす感覚器官です。

世の中には生まれつき視覚に障害を持つ人だけでなく、病気や事故で目が不自由になる人も多いようです。身の周りに手助けが必要な人がいたときに、少しでも知識があれば何かのお手伝いができるかもしれません。

今回は視覚障害についての知識やサポートに関する資料をご紹介します。



中野区立南台図書館

03-3380-2661





視覚障害とは

目が見えない人のことを「視覚障害者」と呼びます。視覚障害者は「盲（もう）」と「弱視」に分類されますが、それ以外にも視力は良好でも視野が極端に狭い人なども視覚障害者に含まれるため、この分類が必ずしも妥当とはいえません。

「盲（もう）」といわれる人は墨字（点字に対して目の見える人、晴眼者が使っている文字のこと）が見えないのはもちろんですが、まったく明かりさえ見えない人やまわりの状況ぐらいは見える人などが含まれます。「弱視（ロービジョン）」といわれる人は何とか墨字が読める程度の視力がある人のことです。このように視覚障害者といわれる人たちにもさまざまな人が含まれるため「盲（もう）」と「弱視」の間に「準盲（じゅんもう）」を入れて三種類に分類する人もいます。

日本には“身体障害者手帳”という制度があります。障害の程度に応じた等級が記載されていて視覚障害者の場合は1級から6級に分けられ、障害の程度によって福祉サービスの内容が異なります。一般的に1級と2級は重度障害者と呼ばれ、3級と4級は中度（中程度）障害者、5級と6級は軽度障害者と呼ばれています。ただ障害があってもこの手帳を所持していない人は、法律上「身体障害者」とは認められないこともあります。日本では「障害者」を法律の基準によって定めているために、障害があっても手帳を持っていない人はほとんどの福祉サービスを受けることができなくなっているのです。

視覚障害者の実態としては、重度障害者の割合が六割を占めており、高齢化も進んでいて70歳以上の人の割合が半数を超える状況にあります。戦後は「はしか」などの病気によって、その後は未熟児網膜症などで幼い子どもが視覚障害になることが多かったのですが、近年は糖尿病などの「生活習慣病」によって視覚障害になるケースが増えています。

視覚障害者のための福祉サービス

身体障害者手帳を持っている視覚障害者は、国やそれぞれの居住する都道府県、市区町村などの行政機関を介して、事業所から次のような福祉サービスがあります。

① 地域生活支援事業

地域生活支援事業は障害者が安全かつ快適な生活を送れるように支援する事業で、その中に移動支援事業があります。視覚障害者が外出する際に安全かつスムーズに歩行したり、乗り物などの交通機関を利用できるよう、市区町村の支給決定および助成に基づいてサービス提供事業者からガイドヘルパーが派遣されます。また日常生活用具給付等事業として、点字器などの生活用具の給付や貸与を行っています。また障害者からの様々な相談に対応するなどのサービスもあります。より専門性の高い支援事業については、都道府県がその事業を行っています。

② 訪問介護（ホームヘルプサービス）

日常生活が困難な重度の視覚障害者が、障害程度区分に基づく支給決定を受けた場合、居宅において入浴・排せつ・食事の介護等、家事や生活に関する相談及び助言や生活全般にわたる援助を受けることができます。

③ 補装具費支給制度

視覚障害者が日常生活を送る上で不可欠な歩行安全杖（白杖）や盲人用眼鏡などの補装具の利用ができます。費用の負担は原則一割となっていますが、本人の所得に応じて異なります。



④ 盲導犬の貸与

盲導犬は従来一部の視覚障害者が安全歩行のパートナーとして利用してきました。2002年10月から「身体障害者補助犬法」が施行され、盲導犬や介助犬・聴導犬を使用する人がレストランなどの施設や電車・バスなどの交通機関を利用する場合、「犬を同伴することを拒んではならない」ということが法律で定められました。市区町村の福祉課や訓練所に直接申し込みますが、歩行訓練が必要だったり、盲導犬の世話ができることが条件となります。

現在全国にある盲導犬訓練施設では、年間百数十頭の盲導犬が育成され約千頭が各地で活躍していますが、視覚障害者全体から見ると決して十分とは言えません。



視覚障害者へのサポートについて

日常生活の中では、8割以上の情報を視覚から取り入れていると言われていています。その視覚に障害がある人たちは、聴覚や触覚など視覚以外の感覚を総動員して情報を集めています。それでも常に危険と隣り合わせの生活を送っているのです。街中で困っている視覚障害者を見かけたら「何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけてみてください。急に大声を出して驚かせないとか白杖や腕などを強引に引っ張らないなどの注意する点や、介助する時のやり方を知っておくと声をかけやすくなると思います。その人が何に困っていてどういう手助けが必要なのかを聞いて、けっして無理強いをしないことも大切です。

参考文献

『知っていますか？視覚障害者とともに』 楠 敏雄・三上 洋・西尾 元秀／編著
『イラストでわかる視覚障害者へのサポート』 国際視覚障害者援護協会／編集



『障害者の読書と電子書籍』

日本盲人社会福祉施設協議会情報サービス部会／編 小学館 2015年

369.2 シ



これまでの視覚障害者の読書環境の変化と、今後、中心となっていくであろう電子書籍の現状や課題について取り上げられています。

視覚障害者への情報提供サービスを行っている施設や団体に所属する複数の方々によって執筆されたこの本は、とても詳しく分かりやすく書かれているので、視覚障害者の読書環境に興味がある方へおすすめの1冊です。



『目の健康を守る本 視力0.1でも豊かな生活を送る』

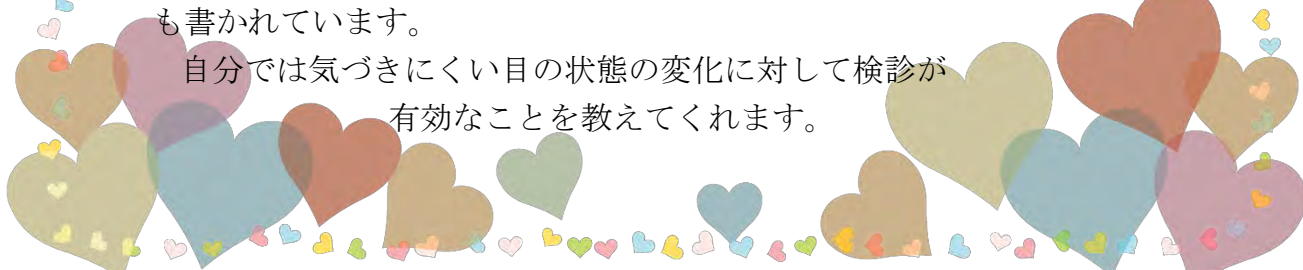
井上 賢治/著 幻冬舎 2017年

496.4 イ



この本は眼科医が「見えづらさ」を少しでも軽くするためのノウハウをまとめた一冊です。加齢や加齢が原因となる目の病気で生活が不便になったときに、どんな工夫をすればいいのかを分かりやすく紹介しています。またユニバーサルデザイン（すべての人が使いやすく共生できるデザイン）を導入することによって得られる快適な生活についても書かれています。

自分では気づきにくい目の状態の変化に対して検診が有効なことを教えてくれます。



視覚障害展示図書リスト



書名	著者	出版社	出版年	請求記号
目の健康を守る本	井上 賢治／著	幻冬舎メディア コンサルティング	2017	496.4 4
電子書籍アクセシビリティの研究	松原 聡／編著	東洋大学 出版会	2017	023 マ
カラーユニバーサルデザインの手引き	教育出版CUD 事務局／編著	教育出版	2012	757.3 カ
視覚障害児・者の理解と支援	芝田 裕一／著	北大路書房	2015	369.2 シ
同行援護ハンドブック	松井 奈美／編著	日本医療 企画	2015	369.2 マ
ブックナビ視覚障害がわかる本 273 冊	桜雲会／編	桜雲会	2008	369.2 ブ
何かお手伝いしましょうか	立花 明彦／著	産学社	2014	369.2 タ
障害者の読書と電子書籍	日本盲人社会福祉施設協議 会情報サービス部会／編	小学館	2015	369.2 シ
みんなに役立つ生活習慣病対策	桜雲会／編	桜雲会点字 出版部	2013	493.1 ミ
盲導犬の訓練ってどうするの？	松井 進／著	生活書院	2011	369.2 マ
知っていますか？視覚障害者とともに 一問一答	楠 敏雄 他／編著	解放出版社	2007	369.2 シ

リストに載っていない資料もございますので、展示コーナーをご覧ください



視覚障害について調べてみよう

視覚障害についてより知識を深めたい方のために、ここでは、視覚障害についての資料・情報の調べ方を紹介します。

1. 情報検索のキーワード

視覚障害について調べる際に幾つかのキーワードがあります。これらを使うことでより効率的な調べ方ができます。

視覚障害／ロービジョン／白杖／盲導犬／点字／弱視／録音図書／大活字本／電子書籍

2. 基本的な情報を調べる

イ. 用語・データを調べる

資料情報	請求記号	所蔵館
世界大百科事典 平凡社 2007年（便覧のみ 2009年）	031 セ 34	南台図書館 （館内閲覧のみ）
現代用語の基礎知識 2018 自由国民社 2018年	031 ケ 18	南台、中央図書館 （館内閲覧のみ）
障害者白書 平成29年版	R369.2 シ 17	中央図書館 （館内閲覧のみ）

ロ. テーマの棚を調べる

分類記号	分野	分類記号	分野	分類記号	分野
369.1	社会福祉施設	369.2	視覚障害者福祉	378.1	点字法

ハ. 視覚障害に関する図書を調べる

資料情報	請求記号	所蔵館
イラストでわかる視覚障害者へのサポート 国際視覚障害者援護協会／編 2007年	369.2 イ	南台、東中野図書館
何かお手伝いしましょうか 立花 明彦／著 産学社 2014年	369.2 ヲ	南台、上高田図書館
障害者の読書と電子書籍 日本盲人社会福祉施設協議会／編 2015年	369.2 シ	南台、中央図書館

★中野区立図書館の資料を探す

- ・ 図書館内の「館内利用者用検索機」(OPAC)
- ・ 中野区立図書館ホームページ→<https://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp>

★東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す

⇒東京都立図書館ホームページから入ります→<http://www.library.metro.tokyo.jp/>

・ 雑誌・新聞を探す

原紙(朝日・毎日・読売・産経・東京・日経)→南台図書館1階新聞コーナーにあります。
毎日新聞縮刷版→南台図書館1階カウンター横にあります。

3. 関連機関のご案内

・ 中野区役所 健康福祉部 障害福祉分野

〒164-8501

住所 中野区中野四丁目8番1号

電話 03-3228-8832

FAX 03-3228-5660

HP <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/404500/index.html>



・ 南部すこやか障害者相談支援事業所(みなみらいず内)

〒164-0013

住所 中野区弥生町5丁目11番26号

電話 03-5340-7888

FAX 03-5340-7880

HP <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/176100/d023484.html>



・ 中野区立図書館 障害者サービス

中野区立図書館ホームページ <https://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/riyou/index.html>

身体障害者手帳をお持ちの方および同等の障害をお持ちの方を対象としたサービスです。
サービスの内容は「録音図書の貸出」「点字資料の貸出」「対面朗読」です。
ご利用いただくには、あらかじめ「障害者サービス」の利用登録が必要です。

南台図書館からのお知らせ

冬のおたのしみ袋



日時： 1月 20日(土)・21日(日)

午前 9 時から午後 8 時まで

大人も 子どもも 楽しめる

おたのしみ袋 是非、借りにきてね！

年末年始のお休み ■の日は休館日

2018年1月						
日	月	火	水	木	金	土
12/ 24	12/ 25	12/ 26	12/ 27	12/ 28	12/ 29	12/ 30
12/ 31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

【開館時間】

土、日、祝日、平日 ともに 午前9：00～午後8：00